

平成25年度

事業報告書

一般財団法人 新潟県地域医療推進機構

I 平成25年度事業の概況

平成24年4月17日に設立された当機構は、同年6月の新潟県議会定例会における指定議決を受け、平成27年6月1日から魚沼基幹病院の指定管理者として、正式に魚沼基幹病院の運営を担うこととなっており、開院に向けた準備を進めている。また、当機構は、同病院の運営のみならず、地域医療に貢献する医療人の育成やへき地病院等への医師派遣など、広域的な地域医療支援の一翼を担っていくことを想定している。

平成25年度における事業については、魚沼基幹病院の開院に向け、各部門毎に専門部会を設置し、具体的な病院運営体制の検討を進めるとともに、新潟県と連携し、医療機器の選定及び医療情報システムの構築、地域医療の再編に伴う移行に関する検討、調整を進めた。また、新潟大学等の協力を得て、同病院の医師の確保に向けた取組を進めるとともに、看護職員等の医療スタッフの確保に向け、地域医療に精通した新潟県職員の派遣要請、開院時に必要となるスタッフの採用試験や就職説明会等の具体的なリクルート活動を行うなど、平成25年3月28日の定例理事会で承認された平成25年度の事業計画に係る目的を概ね達成した。

II 理事会開催の状況

開催年月日／場所	議 題
平成25年度第1回定例理事会 平成25年5月27日 新潟県自治会館401会議室	(1) 平成24年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認の件 (2) 平成24年度計算書類及び計算書類の附属明細書の承認の件 (3) 平成25年度第1回定時評議員会の招集の件 (4) 新潟県地域医療推進機構職員の給与制度概要の決定の件 (5) 新潟県地域医療推進機構職員に係る平成25年度公募の件
平成25年度第1回臨時理事会 (書面：決議日 平成26年3月10日)	(1) 平成25年度第1回臨時評議員会招集の件 (2) 顧問の選任の件 (3) 平成25年度第2回臨時評議員会招集の件
平成25年度第2回定例理事会 平成26年3月26日 新潟県庁201会議室	(1) 従たる事務所の設置の件 (2) 事務部長の選任の件 (3) 平成26年度事業計画及び収支予算の決定の件 (4) 新潟県地域医療推進機構組織規程の全部改正の件 (5) 職員就業規則の決定の件 (6) 職員の勤務時間・休暇等に関する規程の決定の件 (7) 職員の育児・介護休業等に関する規程の決定の件 (8) 職員給与規程の決定の件 (9) 研修医宿舎の管理に関する協定締結の件

Ⅲ 評議員会開催の状況

開催年月日／場所	議 題
平成25年度第1回定時評議員会 平成25年6月17日 新潟県自治会館201会議室	(1) 平成24年度計算書類の承認の件
平成25年度第1回臨時評議員会 (書面：決議日 平成26年3月17日)	(1) 評議員の選任の件 (2) 理事の選任の件
平成25年度第2回臨時評議員会 平成26年3月26日 新潟県庁201会議室	(1) 平成26年度事業計画及び収支予算の承認の件

Ⅳ 事業報告

1 魚沼基幹病院の運営計画の検討

(1) 専門部会の設置、開催

平成24年度に設置した開設準備委員会（委員長：内山病院長）の下部組織として専門部会を設置し、新潟大学、新潟県病院局等の医療スタッフの参画を得ながら、病院の運営体制等について検討を進めた。

ア 部会構成

全体部会、運営部会及びWG、物品管理部会、医療情報部会、医療機器選定部会を設置（別紙1参照）。

イ 部会員

内山病院長を全体部会長として、新潟大学、地元再編病院、当機構職員等で構成（別紙2参照）。

ウ 開催状況

6月から3月にかけて、延べ18回実施したほか、部会前後においてコアメンバーとの打合せ等を実施した（別紙3参照）。

エ 内容

(7) 病院運営体制の検討

- 運営部会各WGにおいて、外来、病棟、救急、手術、薬剤、放射線、検査、リハビリ、施設管理等の部門ごとの基本方針や運営における基本的事項などについて検討を実施（7月～9月）。
- 病院内の部門間における患者・スタッフ・物・情報の流れを体系的に整理するため、専門部会員による小WGや個別打ち合わせによる検討を進め、アドバイザーからも意見を聴取しながら部門別運営フローを策定（10月以降）。

- ・ 病院内における物流管理を検討するため、物品管理部会を開催し、物流の集中管理や物流管理の委託化などについて検討（9月～3月）。

(4) 医療機器選定及び医療情報システムに係る調整

- ・ 新潟県で医療機器及び医療情報システムを整備するに当たり、医療機器選定部会（7月～3月）、医療情報部会（1月～3月）を開催。
- ・ 病院運営を担う立場から具体的な医療機器の検討を行うとともに、医療情報システムの構築に向けた体制整備について検討を進めた。
- ・ 医療情報システムについては、新潟県がプロポーザルを経て、富士通株式会社新潟支社と契約を締結（11月）。

(2) 医療再編に伴う移行に関する課題の検討

新潟県が主催し、当機構、新潟県病院局、再編対象病院等の関係者による、移行に関する打ち合わせ会議が随時開催された。

また、透析医療は空白が許されない事情があることから、新潟県が主催する透析医療に係る検討会に参加（11月）し、再編対象病院による看護部WG（1月）において、透析医療の円滑な移行・引き継ぎについて検討を進めた。今後、救急、周産期等の個別の課題についても順次検討を進める予定としている。

2 魚沼基幹病院職員確保の取組

(1) 医師の招へいに係る取組

ア 新潟大学との連携

新潟県と連携し、新潟大学各医局と継続的に医師の派遣に関する協議を行った。その中で、核となる診療科については、平成26年度の早い段階で各診療科部長クラスの医師を内定していただくこと及び平成26年10月には、医局のローテーターも含め、魚沼基幹病院の診療に従事する医師を確定していただくことを要請した。

イ 医師臨床研修体制の構築

魚沼基幹病院が、平成27年6月の開院時から新潟大学医歯学総合病院等の協力型臨床研修病院に指定されるよう、平成25年6月から厚生労働省関東信越厚生局と協議を開始し、平成26年6月に指定申請を行う方向で調整している。

また、地域医療に意欲的な研修医の獲得に向けた教育・研修プログラムの策定について、新潟大学地域医療教育センター長とともに、先進病院の視察を行うなど検討を開始した。

ウ 県外大学等との接触

新潟大学からの医師派遣が難しい診療科を中心に、荒川理事長及び内山病院

長が県外大学や顧問等と接触し、魚沼基幹病院への医師派遣について協力を要請した。

エ 顧問との意見交換

平成25年7月に荒川理事長及び内山病院長が各顧問を訪問し、総合診療医の育成及び研修医教育などの諸課題について意見交換を行った。

また、顧問が病院長を務める首都圏病院の看護部長と面会し、医療スタッフの確保及び首都圏病院への研修受入について意見交換・要請を行った。

(2) 看護職員等の医療スタッフ確保に向けた採用試験及び具体的なリクルート活動等の実施

ア 採用試験の実施

平成26年度に魚沼基幹病院の開院準備業務に従事する職員の採用や、平成27年度の開院時に必要となるスタッフを先行採用するため、平成25年7月から平成26年3月まで看護職員、医療技術職員及び事務職員の採用試験を実施した（採用状況は別紙4参照）。

イ 合同就職説明会への参加

看護師確保を図るため、民間主催の合同就職説明会に計12回（4月1回、6月1回、7月2回、2月4回、3月4回）、養成施設主催のガイダンスに計4回参加し、看護学生等の来場者を対象に、魚沼基幹病院の情報を発信し、医療スタッフの確保に向けて準備を進めるとともに、今後の看護職員確保策の構築に向けてアンケート調査を実施した。

ウ 魚沼基幹病院就職説明会の開催

平成25年6月から11月まで、新潟県内外において、当機構主催の就職説明会を全16回実施し、約240人からの参加があった。説明会では魚沼基幹病院の概要や、就職試験の内容などの説明を実施するとともに、個別の相談に応じた。

エ ダイレクトメール等の実施

人材派遣会社に登録のある首都圏在住の看護師等に対し、ダイレクトメール（約5,600人）、メールマガジン（約40,000人）で魚沼基幹病院の概要や魅力、採用情報等について個人へ案内した。

また、Uターンを喚起するため、魚沼在住の親等を主なターゲットとして、魚沼市、南魚沼市の市報折り込みチラシを全戸配布した（約40,000部×2回実施）。

オ 就職なんでも相談室の開設

平成25年8月から新潟県庁及び南魚沼市において、魚沼基幹病院への就職を検討している者からの相談にいつでも応じる相談室を設置した。相談室には、平成26年3月末までに約102名の利用があり病院概要の説明、入職後の業務内容や処遇に関する相談に応じた。

カ モデルルームの設置

病院建設現場内に病室モデルルームを設置し、採用内定者や就職説明会参加者、県立病院職員で希望する方にお越しいただき内覧会を実施。内装設備や床頭台機能などを検討した（延べ参加者63名）。

キ 病院情報の発信

魚沼基幹病院のホームページ及びロゴを制作し、ホームページを通じて開院準備の進捗状況を情報発信し、新潟県民や医療関係者への周知を図った。また、病院のコンセプトブックを制作し、情報発信ツールとして活用した。

ク 職員処遇、勤務環境、居住環境の整備に向けた検討

職員確保に向けて、給与制度を整備するとともに、居住環境を具体化し、就職説明会等で情報発信を行った。

ケ 北里大学保健衛生専門学院等との意見交換

平成25年8月に北里大学病院へ看護体制の先進的な取組の視察を行った。9月には北里大学保健衛生専門学院関係者と、看護学生実習受入について意見交換を行った。

また、新潟県内外の看護師養成施設（県内11校、県外7校）を訪問し、就職担当者との面談を通じて、在学生への進路指導の協力依頼及び情報発信を行った。

コ 看護学生修学資金貸与事業

魚沼基幹病院の看護職員確保を図るため、県内外の看護学生に対し、修学資金の貸付対象者を募集し、平成24年度の貸付決定者と合わせて32名に貸与を行った。

（平成25年度新規貸与決定者）

名称	区分	貸与月額	募集人数	決定人数
一般貸与	保健師、助産師、看護師の学校養成所（県内外問わない）に在学している者	50,000円	10名程度	13名
特別貸与	新潟県外の保健師、助産師、看護師の学校養成所に在学している者で、学業成績が極めて優秀な者	75,000円	10名程度	3名

※学校養成所を卒業後、直ちに魚沼基幹病院に就職し、5年間継続して看護職員

の業務に従事した場合、返済を免除

(3) 看護職員等の医療スタッフ確保に向けた新潟県病院局に対する新潟県職員の派遣依頼等

ア 新潟県病院局への新潟県職員派遣依頼

魚沼地域の医療提供体制を整備するためには、地域医療に精通した職員を確保していくことが必要不可欠であることから、平成24年度末に新潟県病院局に対して新潟県職員の派遣依頼を行った。平成25年度は、平成27年度派遣職員の人数・職種及び平成26年度の開院準備要員の派遣について、継続して協議・依頼を行い、医療技術職の部門長、看護師長等の派遣を受けることができた。

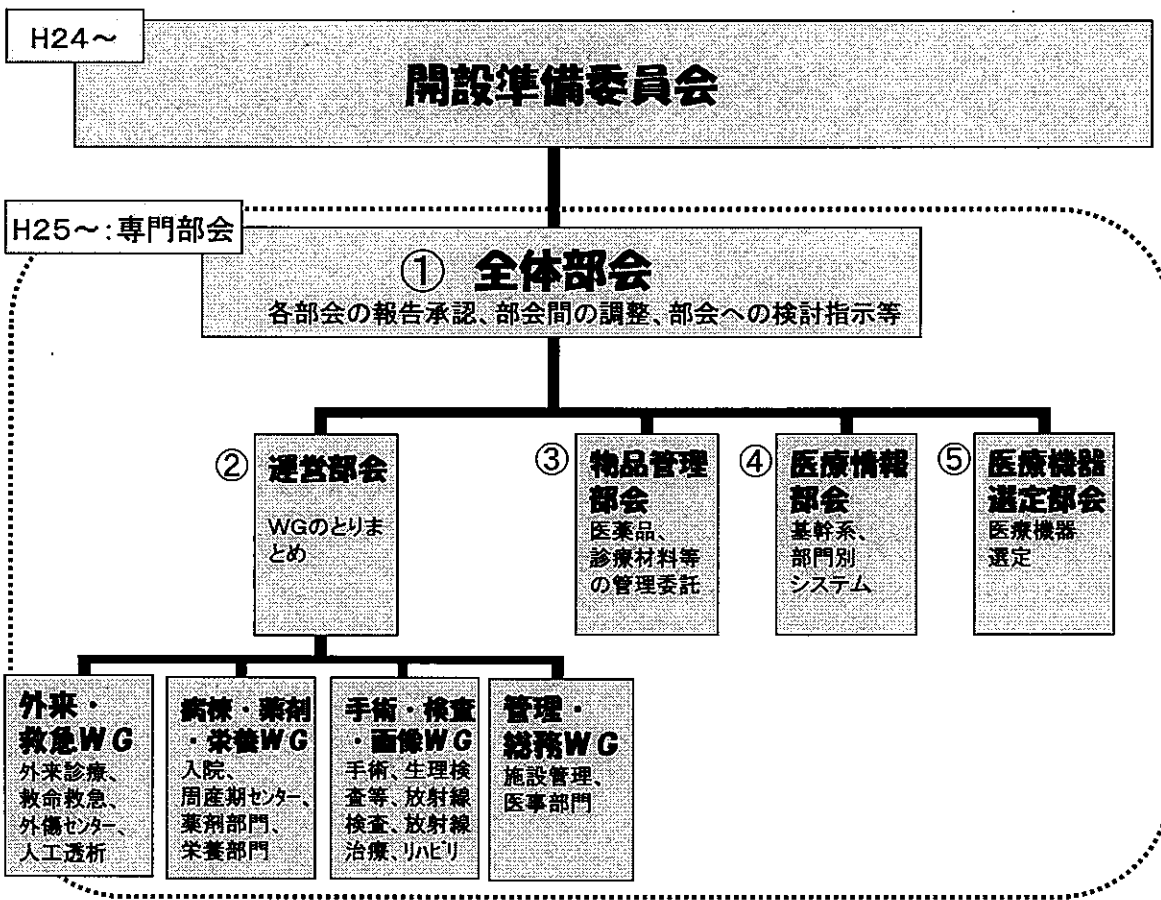
また、新潟県病院局と職員団体との交渉の場に、当機構がオブザーバーとして同席し、意見交換を行うとともに職員の処遇方針等について情報提供を行った。

引き続き、地域医療の確保・診療機能の引継の観点からの職員派遣等について、新潟県病院局と調整を進めている。

イ 新潟県立病院への説明会

小出病院及び六日町病院の職員を対象とした、新潟県病院局主催の「魚沼基幹病院への職員派遣制度に関する説明会」（平成25年8月）に出席し、開院準備の進捗状況や派遣職員に関する処遇等について説明し、職員派遣について理解の促進に努めた（延べ参加者395人）。

組織



一般財団法人新潟県地域医療推進機構 開設準備委員会
 専門部会員一覧

氏名	現職	備考
内山 聖	新潟県地域医療推進機構 副理事長・病院長	全体部会長
高田 俊範	新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター センター長	病棟・薬剤・ 栄養WG長
井口 清太郎	新潟大学大学院医歯学総合研究科 総合地域医療学講座特任教授	外来・救急 WG長
寺島 健史	新潟大学医歯学総合病院 医療情報部准教授	医療情報部会 長
廣野 暁	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学分野助教	物品管理部会 長
西山 勉	新潟大学大学院医歯学総合研究科 泌尿器科学分野准教授	医療機器選定 部会長
生越 章	新潟大学大学院医歯学総合研究科 整形外科・リハビリテーション学分野准教授	手術・検査・ 画像WG長
小杉 伸一	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器外科分野講師	
和田 雅樹	新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター副センター長	
信田 慶太	県立小出病院 精神科医長	
山口 征吾	新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター助教	
板垣 成孝	県立小出病院 小児科医長	
鈴木 和夫	県立六日町病院 内科部長	
廣田 茂	南魚沼市立ゆきぐに大和病院 副院長	
貝瀬 眞由美	県立がんセンター新潟病院 専任セーフティマネージャー（薬剤師）	
天木 淳	県立小出病院 診療放射線技師長	
小池 敦	県立小出病院 臨床検査副技師長	
飯塚 眞由美	県立小出病院 リハビリテーション技師長	
村山 稔子	新潟大学医歯学総合病院 栄養管理部栄養管理室長	
西塔 毅	新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床工学部門長	
渡邊 礼子	新潟県地域医療推進機構 看護部長	
安江 栄里子	新潟県地域医療推進機構 看護副部長	
酒井 邦彦	新潟県地域医療推進機構 業務課長	管理・総務 WG長

専門部会開催状況について

別紙3

No.	部会名・WG名	部会長・WG長	開催日	会場	主な内容
1	第1回全体部会	内山 聖	25.6.11(火)	新大病院	・専門部会の進め方 ・部会長等の選任
2	第1回外来・救急WG	井口 清太郎	25.7.23(火)	〃	・以下の基本的事項を検討 (1)外来診療部門 (2)地域救命救急センター (3)外傷センター (4)人工透析部門 (5)精神科デイケア等 (6)地域医療連携部門
3	第1回医療機器選定部会	西山 勉	25.7.29(月)	〃	・医療機器の整備方針 ・医療機器検討リスト
4	第1回手術・検査・画像WG	生越 章	25.8.7(水)	〃	・以下の基本的事項を検討 (1)手術部門 (2)内視鏡部門 (3)滅菌部門 (4)放射線部門 (5)放射線治療部門 (6)検体検査部門 (7)生理機能検査部門 (8)病理検査部門 (9)リハビリテーション部門 (10)MEセンター
5	第1回病棟・薬剤・栄養	高田 俊範	25.8.8(木)	〃	・以下の基本的事項を検討 (1)病棟部門 (2)周産期センター (3)薬剤部門 (4)栄養部門
6	第2回外来・救急WG	井口 清太郎	25.8.21(水)	〃	・継続課題を検討
7	第1回管理・総務WG	酒井 邦彦	25.8.26(月)	〃	・以下の基本的事項を検討 (1)病院組織イメージ (2)管理部門 (3)教育研修機能 (4)災害拠点機能 (5)業務委託 (6)患者サービス・駐車場 (7)職員福利厚生
8	第2回医療機器選定部会	西山 勉	25.9.3(火)	〃	・継続課題を検討 ・MRIの増設を検討
9	第2回病棟・薬剤・栄養	高田 俊範	25.9.10(火)	〃	・継続課題を検討
10	第2回手術・検査・画像WG	生越 章	25.9.17(火)	〃	・継続課題を検討
11	第1回物品管理部会	廣野 暁	25.9.18(水)	〃	・物品管理の基本的事項を検討
12	臨時医療機器選定部会	西山 勉	25.9.19(木)	〃	・継続課題を検討 ・部門別・機種別機器数の調整
13	第2回管理・総務WG	酒井 邦彦	25.9.26(木)	〃	・以下の基本的事項を検討 (1)什器・備品 (2)インターネット環境整備 (3)医事業務委託 (4)患者サービス
14	第2回物品管理部会	廣野 暁	25.11.27(水)	〃	・継続課題を検討
15	第1回医療情報部会	寺島 健史	26.1.23(木)	〃	・医療情報部会の進め方を検討
16	第3回物品管理部会	廣野 暁	26.3.17(月)	〃	・継続課題を検討 ・委託業者の選定方法を検討
17	第2回医療情報部会	寺島 健史	26.3.24(月)	〃	・システム検討体制を整備
18	第3回医療機器選定部会	西山 勉	〃	〃	・医療機器の総額調整を検討

職員採用状況

別紙4

職種	H26採用者				H27採用内定者			合計
	準備要員	研修 (経験者)	研修 (新卒)	計	経験者	新卒 (修学資金等)	計	
看護師	3	14	10	27	17	11	28	55
助産師		1		1			0	1
薬剤師		1		1	2		2	3
臨床検査技師		2	1	3	2	1	3	6
診療放射線技師	1	1		2	5		5	7
理学療法士		1		1	3		3	4
作業療法士	1			1			0	1
言語聴覚士				0			0	0
視能訓練士				0			0	0
歯科衛生士				0			0	0
臨床心理員				0			0	0
医療ソーシャルワーカー	1			1	3		3	4
臨床工学技士	1			1	7		7	8
管理栄養士	1		1	2	1		1	3
事務	7			7			0	7
合計	15	20	12	47	40	12	52	99

平成25年度貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日 現在

(単 位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
普 通 預 金	28,543,739	4,841,573	23,702,166
流 動 資 産 合 計	28,543,739	4,841,573	23,702,166
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	49,996,250	49,996,062	188
普 通 預 金	45,000	47,250	△ 2,250
基 本 財 産 合 計	50,041,250	50,043,312	△ 2,062
(2) そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	292,200	110,740	181,460
保 証 金	30,000	30,000	0
長 期 貸 付 金	33,300,000	11,400,000	21,900,000
そ の 他 固 定 資 産 合 計	33,622,200	11,540,740	22,081,460
固 定 資 産 合 計	83,663,450	61,584,052	22,079,398
資 産 合 計	112,207,189	66,425,625	45,781,564
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	28,390,158	4,768,142	23,622,016
預 り 金	153,581	71,027	82,554
流 動 負 債 合 計	28,543,739	4,839,169	23,704,570
2 固 定 負 債			
長 期 預 り 金	33,300,000	11,400,000	21,900,000
固 定 負 債 合 計	33,300,000	11,400,000	21,900,000
負 債 合 計	61,843,739	16,239,169	45,604,570
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	50,041,250	50,043,312	△ 2,062
(うち基本財産への充当額)	(50,041,250)	(50,043,312)	(△ 2,062)
2 一 般 正 味 財 産	322,200	143,144	179,056
正 味 財 産 合 計	50,363,450	50,186,456	176,994
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	112,207,189	66,425,625	45,781,564

平成25年度正味財産増減計算書

平成 25 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経 常 増 減 の 部			
(1) 経 常 収 益			
① 基 本 財 産 運 用 益	(47,258)	(1,322)	(45,936)
基本財産受取利息	47,258	1,322	45,936
② 受 取 補 助 金 等	(164,632,338)	(25,483,565)	(139,148,773)
受取地方公共団体補助金等	164,632,338	25,483,565	139,148,773
③ 雑 収 益	(7,985)	(1,683)	(6,302)
受 取 利 息	7,985	1,683	6,302
経 常 収 益 計	164,687,581	25,486,570	139,201,011
(2) 経 常 費 用			0
① 事 業 費	(114,981,983)	(17,814,463)	(97,167,520)
給 料 手 当	64,023,775	11,094,941	52,928,834
福 利 厚 生 費	8,311,977	1,270,858	7,041,119
臨 時 雇 賃 金	1,179,608	797,901	381,707
旅 費 交 通 費	4,699,280	971,242	3,728,038
通 信 運 搬 費	869,562	264,103	605,459
減 価 償 却 費	18,632	1,501	17,131
消 耗 什 器 備 品 費	10,190,340	1,984,720	8,205,620
消 耗 品 費	1,155,575	505,919	649,656
修 繕 費	260,568		260,568
印 刷 製 本 費	1,402,473	73,294	1,329,179
燃 料 費	181,633		181,633
光 熱 水 料 費	161,422	47,926	113,496
賃 借 料	1,509,019		1,509,019
保 険 料	6,600		6,600
広 告 宣 伝 費	651,000		651,000
租 税 公 課	11,541	3,539	8,002
支 払 寄 付 金	7,209,000		7,209,000
委 託 費	10,634,745	22,446	10,612,299
雑 費	918,492	102,579	815,913
会 議 費	49,921	123,744	△ 73,823
報 償 費	1,536,820	549,750	987,070
② 管 理 費	(49,526,542)	(7,528,963)	(41,997,579)
役 員 報 酬	24,514,000	2,646,000	21,868,000
給 料 手 当	16,005,944	2,773,735	13,232,209
臨 時 雇 賃 金	294,902	199,475	95,427
福 利 厚 生 費	3,937,558	317,714	3,619,844
会 議 費	40,519	104,414	△ 63,895
旅 費 交 通 費	170,076	57,224	112,852
通 信 運 搬 費	166,154	60,206	105,948

減価償却費	4,658	375	4,283
消耗什器備品費	2,530,710	496,180	2,034,530
消耗品費	253,308	107,490	145,818
修繕費	65,142		65,142
印刷製本費	147,798	12,074	135,724
燃料費	45,408		45,408
光熱水料費	40,356	11,982	28,374
賃借料	194,747		194,747
租税公課	43,530	22,462	21,068
雑費	27,342	11,676	15,666
委託費	1,044,390	707,956	336,434
経常費用計	164,508,525	25,343,426	139,165,099
当期経常増減額	179,056	143,144	35,912
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	179,056	143,144	35,912
一般正味財産期首残高	143,144	0	143,144
一般正味財産期末残高	322,200	143,144	179,056
II 指定正味財産増減の部			0
① 受取補助金等			0
受取地方公共団体補助金等	0	50,000,000	△ 50,000,000
② 基本財産運用益			0
基本財産受取利息	45,188	43,312	1,876
③ 一般正味財産への振替額			0
一般正味財産への振替額	△ 47,250		△ 47,250
当期指定正味財産増減額	△ 2,062	50,043,312	△ 50,045,374
指定正味財産期首残高	50,043,312	0	50,043,312
指定正味財産期末残高	50,041,250	50,043,312	△ 2,062
III 正味財産期末残高	50,363,450	50,186,456	176,994

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・法人税法に基づく定額法によっています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込処理によっています。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,996,062	50,000,188	50,000,000	49,996,250
普通預金	47,250	50,000,008	50,002,258	45,000
合 計	50,043,312	100,000,196	100,002,258	50,041,250

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,996,250	(49,996,250)	(0)	—
普通預金	45,000	(45,000)	(0)	—
小 計	50,041,250	(50,041,250)	0	—
合 計	50,041,250	(50,041,250)	0	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	317,366	25,166	292,200
合 計	317,366	25,166	292,200

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産投資有価証券			
国庫短期証券	49,996,250	49,998,350	2,100
合 計	49,996,250	49,998,350	2,100

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取地方公共団体補助金等	新潟県	0	164,632,338	164,632,338	0	
合 計		0	164,632,338	164,632,338	0	

(注) 指定正味財産増減の部における受取地方公共団体補助金等は、出捐金です。

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	47,250
合 計	47,250